

# 令和3年度 栃木県中学校新人卓球大会(県代替) 要項

R3.11.7

- 1 目的 県内の卓球優秀校を選抜して実施することにより、広く卓球実践の機会を与え、卓球の技術や指導のレベルアップをはかるとともに、スポーツマンシップの高揚をはかり、心身ともに健康な生徒の育成を図る。また、現在のコロナ禍の中で、安全対策をしっかりと県内全域に広め、生徒たちが安全に試合が運営できるようにする。
- 2 主催 栃木県中学校体育連盟卓球専門部
- 3 後援 栃木県中学校体育連盟
- 4 日時 12月18日(土) 団体の部 8:15 入館開始 9:15 開始式 9:30 試合開始  
1月10日(月) 個人の部 8:15 入館開始 9:15 開始式 9:30 試合開始
- 5 会場 両日とも 清原体育館
- 6 参加資格 **※別紙、コロナ感染防止対応に則って試合を運営する。違反した場合は出場を取り消す。**
  - (1) 栃木県中体連加盟の学校に在籍し、競技要項により参加資格を得た者。(中学1年生、2年生)
  - (2) 参加する生徒は、学齢・修業年限が一致していること。ただし、その年度の大会1ヶ月前までに、地区中体連を通じて県中体連に申し出、承認を得た生徒についてはその限りではない。
  - (3) 団体の部(各地区から男女各28チーム。県推薦で男女各4チーム)
    - 推薦地区：男子①下都賀②芳賀③宇河④芳賀 の4校  
女子①芳賀②芳賀③芳賀④下都賀 の4校
    - 各地区の出場数 宇河(男6女7) 鹿沼2 日光(男2女1) 芳賀3 下都賀5 塩谷2  
那須3 南那須1 佐野2 足利2 《さらに推薦地区分を与える》
  - (4) シングルの部
    - ① 地区予選通過者男女各112名。ただし、夏の大会で16位以内に入った1,2年生は校外(個人シード)、32位以内に入った1,2年生は地区への出場枠(地区シード)とする。
    - ② 宇河25 鹿沼7 日光6 芳賀12 下都賀21  
塩谷8 那須13 南那須4 佐野8 足利8
- 7 競技方法
  - (1) 団体の部(若番が進行側のベンチ)、シングルの部それぞれ男女別トーナメントとする。
  - (2) 現行の日本卓球ルールを準用する。
  - (3) 4単1複(単と複にでる選手は重複できない) ※日卓協、及び関東競技部会のガイドラインに従う。
  - (4) 1チーム10名(状況により8名)以内とする。
- 8 申込方法
  - (1) 別紙、申込み用紙を作成し、団体戦：12月7日(火)、個人戦：12月27日(月)に地区理事が、県専門部会の時、持参すること。
  - (2) 郵送は認めない。
  - (3) 申込用紙には氏名・学年まで記入すること。
  - (4) 参加費は無料
- 9 専門部会
  - (1) 日時 団体戦：12月7日(火) 午後1時 個人戦：12月27日(月) 午後1時30分
  - (2) 会場 7日：上河内生涯学習センター学習室 27日：泉が丘中学校会議室
  - (3) 参加者 県役員全員(本部役員、強化委員、地区理事)：印鑑を持参すること
- 10 ルール 日本卓球ルール硬式(現行ルール)を準用する。
- 11 その他 各部門とも3位まで表彰する。
- 12 使用球 ニッタク、VICTAS、バタフライ のホワイトボールとする。

### 13 服装

- (1) 上衣、下衣とも日本卓球ルールで認めたもの。試合の時は、原則として上衣を下衣の中に入れること。(入れられないものについてはその限りではない。)
- (2) 団体の部では**登録選手全員が**、ユニフォームをそろえること。
- (3) ゼッケンは必ずつけること。
- (4) 用具はJ・T・T・A・Aのマークの入っているものに限る。
- (5) すべての面で中学生として誇りをもてるような態度・行為をとること。  
※これに反した者は大会参加を認めない場合もある。
- (6) ユニフォームにクラブチーム名が入ったものは認めない。

### 14 参加方法 【 重 要 】

**10月末日現在の状況です。今後、変更もあります。**

**12月7日の専門部会で決定事項をお知らせします。**

(コロナ感染防止のため、出場に制限があります。これに従って参加してください。名簿や報告書がない場合は、参加することができませんので、御了承ください。)

※1. 入館できる者は、団体戦は、選手10名まで、監督1名、コーチ1名、個人戦は、選手、監督1名、アドバイザー(参加選手の1/2まで)、練習パートナー(ただし選手が奇数の時のみ)のみとする。ただし、生徒は、「栃木県中学校体育連盟主催事業 保護者 参加同意書」と「2週間体調チェック表」を事前に学校の顧問へ提出する(顧問が持参し、大会での提出はしない)。人数制限をするので、認められたもののみ入館できます。

※2. 教員は、学校関係者用の「健康チェックシート」を持参し、提出すること。また、そのチェックシートのチェック項目に、「あり」がある方は、医師の診断により、完治し参加を認められた場合のみ入場できます。(副反応による発熱はその旨記載する。顧問は体調を聞き取り、問題ないことを確認する。)また、「2週間体調チェック表」を作成しておく。

※3. 教員以外が監督やコーチが入る場合は、別紙の資料の「健康チェックシート」を、開催主催者に提出し、許可を取る。また、「あり」がある方は、※2と同様の扱いとする。さらに、「2週間体調チェック表」を作成し、顧問に提出する。

※4. 参加校は、当日、別紙「学校同行者体調記録表(各チーム1枚)」を忘れずに持参すること。※「2週間体調チェック表」は提出しない。(必要に応じて提出を求める)

※5. 学校管理職は、各校1名以内とする。学校関係者用の「健康チェックシート」を持参し、受付で提出してから入場する。

★人数の規定をしています。規定を違反した場合、そのチームの試合は没収試合となりますので、ご注意下さい。

15 栃木県中体連主催事業「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、及び、栃木県中体連卓球専門部ガイドライン「新型コロナウイルス感染症対策方針について」に従って試合を実施すること。別紙「ポイントまとめ」を確認して試合を実施する。

16 外部指導者について(すべてにおいて、所属校長の承認を得ること。)

外部指導者の規定については中体連が定めたものに準じること。ただし、下記の内容については例外とする。

- (1) 複数の学校でのコーチとしての申請及びベンチ入りについては、その外部指導者が顧問と協力して日頃から継続的にその複数の学校の生徒の指導に当たっている場合は例外とする。
- (2) 他校(小・高)の教職員のコーチとしての資格については、その教職員が顧問教師と協力して日頃から継続的に指導に当たっている場合には、次の範囲内で資格を認める者とする。
  - ① 休日及び長期休業中とする。
  - ② 外部指導者の所属校長と、指導を受ける生徒の所属校長の承認を得た者。  
(他校教職員外部指導者申請書を提出する事)
- (3) 外部指導者は何らかの傷害保険に加入しておくこと。
- (4) アドバイザーは成人(20歳以上)とする。

17 その他 団体戦は、「ベスト8」まで関東選抜認定書を贈る。

※本研修会の団体戦の結果によって、その年度の全国選抜へ優勝校を、関東選抜へベスト8を推薦する。翌年度の北関東大会へはベスト4を推薦する。ただし、上位大会への出場校は、日本卓球協会への登録を必須とする。また、個人戦の戦績は、各種卓球大会出場の参考規準とする。

# 令和3年度 栃木県中学校新人卓球大会(県代替) 要項

《コロナ感染防止に関する注意事項・及び試合運営について(ポイントまとめ)》  
(日本卓球協会および栃木県中体連卓球専門部ガイドラインに沿って試合運営を行う)

- (1) 選手および監督、コーチ ※各チームアルコール消毒液をご持参下さい。
- ・各自、体温測定を行った上で参加する
  - ・発熱や咳、のどの痛みなどの症状がある場合は、出場を見合わせる
  - ・マスクを必ず持参、試合以外の時には着用する。特に、応援するときには、必ず着用すること。ただし、試合中は個人の判断に任せる。
  - ・タオルは自分専用のタオルを持参し、共用はしない
  - ・こまめな手洗い、アルコール消毒を行う
  - ・他の参加者との距離(できるだけ2m以上)を確保する
  - ・卓球台の上で手を拭いたりしない
  - ・シューズの裏を手で拭くことはしない
  - ・握手など選手同士の接触を避け、ラケット交換は相手に見せるのみとする
  - ・チェンジコートやチェンジエンドは行わない
  - ・審判は、カウンター使用時には手袋を着用する
  - ・試合後、敗者および審判は使用した台を消毒する
  - ・勝者は、試合後、使用したボールを本部へ返却し、新しいボールを台へ戻す。
- (2) 試合運営に際して
- ・会場入り口や受付等にアルコール消毒薬を設置する
  - ・定期的に適切な換気を行う。
  - ・更衣室は使用禁止とする
  - ・複数の参加者が触れると考えられる場所をこまめに消毒する
  - ・試合は無観客とする
  - ・試合終了日から2週間以内に、コロナウィルスに感染した場合、必ず大会本部に連絡をすること
- (3) 会場使用について
- ・2階席使用時は、両隣を1席以上空けて使用する。また、食事をするときは、2席以上空ける。
  - ・約2時間に一度、5分間換気を行う

## (4) 試合進行時の注意事項について

### ◎試合後のプレーヤー(勝者)の動き

- 試合後、使用したボールを本部へ返却する。その後、手指消毒をした後、新しいボールを持って行き、試合を行った台に置いておく

### ◎試合後のプレーヤー(敗者)および審判の動き (試合後の消毒のため)

- 試合後、台の下に置いてある消毒液をカウンター、イス、台、台の正面の横の棒に吹きかける



- 使用したカウンター、イス、台、台の正面の横の棒の順にキッチンペーパーで水分を拭き取る



- 使用済みのキッチンペーパーは本部前のゴミ箱に捨てる